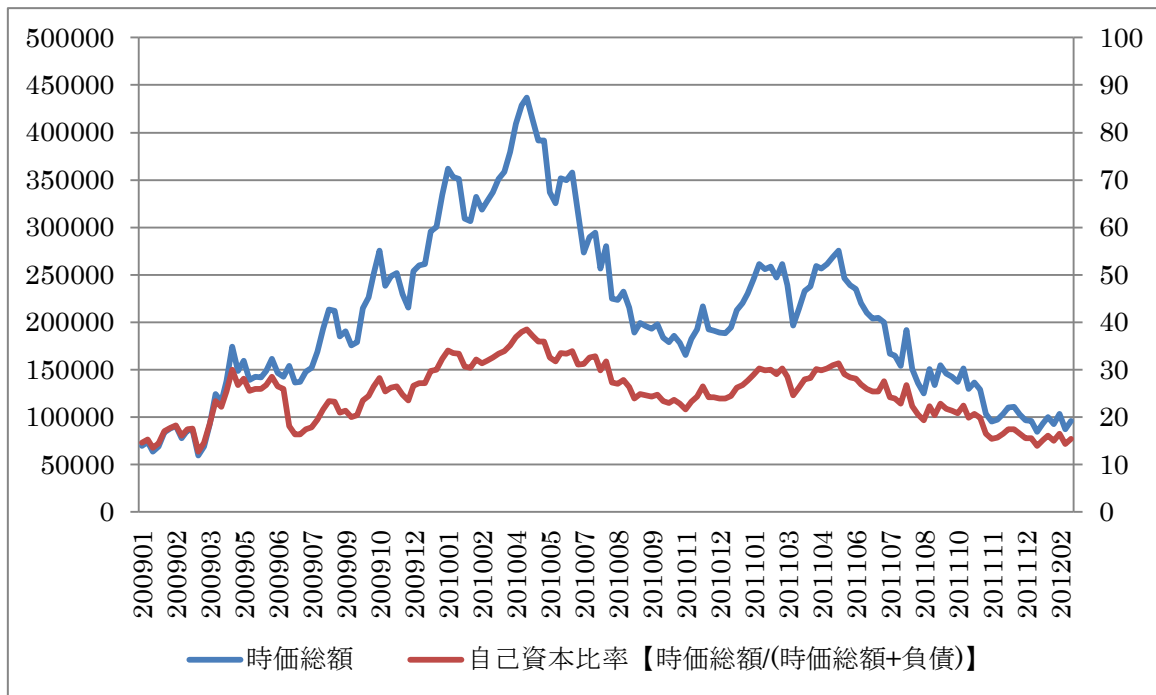


エルピーダメモリ（株） 倒産日 2012年2月27日
 [証券コード：6665 東証1部上場 日経36業種：電気機器業]



【左軸:時価総額（百万円）、右軸:自己資本比率（%）】

エルピーダメモリは2008年3月決算で、DRAM価格の下落を起因とした営業赤字を計上(注1)した。同年のリーマンショックにより、需要面が冷え込み、2009年決算は1788.7億円の最終赤字となった。

2009年6月には「産業活力の再生及び産業活動の革新に関する特別措置法」に基づき、金融支援を受け業績の悪化に歯止めをかけたものの、2010年以降の円高、2011年のタイの洪水に伴う需要の落ち込みを受けて、2012年3月決算の第3四半期では売上が前年同期比で48%減少となった。金融支援による借入金の返済期限が2012年4月(注2)に迫っており、自力の事業継続が困難な見通しとなったため、2012年2月27日会社更生法を申請した。

◆過去3カ年主要財務項目の推移

	2009年3月末	2010年3月末	2011年3月末
時価総額	93,032	358,483	232,961
負債	699,062	600,955	522,966
営業利益	-147,389	26,845	35,788
経常利益	-168,757	12,290	13,854
当期純利益	-178,870	3,085	2,096

(単位:百万円 金融工学研究所調べ)

注1:日経産業新聞 2008年1月30日付

注2:「エルピーダメモリ株式会社 平成24年3月期 第3四半期決算短信」



【左軸:時価総額（百万円）】

(DCRIq:四半期財務評価は2009年10月より評価開始)

上場企業に対し、株価の変動と財務指標で信用力（DCRI）を測定する弊社製品 DEFENSE では、当該企業は2009年決算が反映された時点でb-格であった。財務の改善によって一時的に信用力は回復したものの、2011年以降に信用力を下げていき、倒産直前時点においてDEFENSEはbb-格の評価をしていた。

なお四半期財務を用いた信用力(DCRIq)では、当該企業を評価開始時の2009年10月時点でb-格の評価をしていた。倒産直前時点では2012年3月期第3四半期決算の結果を踏まえ、b格で評価していた。

◆倒産時点より遡ったDEFENSEの主要項目

	104週前	52週前	26週前	12週前	4週前
DCRI	14.544	12.681	12.236	12.182	12.315
DCR	b	bb-	bb-	bb-	bb-
Status	Red-2	Red-1	Red-1	Red-1	Red-1
DCRI業種平均	9.954	9.786	10.169	10.008	9.981
DCRI業種中央値	9.866	9.629	10.040	9.952	9.931

DEFENSEのStatusは6段階（※）で表現しており、その中でRed-1、Red-2は相対的に信用力に問題のある企業に対するシグナルとなっている。

※Green-1、Green-2、Yellow-1、Yellow-2、Red-1、Red-2

「Default Event Study（デフォルトイベントスタディ）」のお問い合わせは、下記までご連絡をお願い致します。
株式会社 金融工学研究所 Tel 03-3276-3440 FAX 03-3276-3439 URL <http://www.ftri.co.jp>

「デフォルトイベントスタディ」の著作権は㈱金融工学研究所に帰属し、その目的を問わず、情報の全部または一部を無断で引用または複製することを禁じます。「デフォルトイベントスタディ」は、信頼に足ると判断したデータ、情報を掲載していますが、㈱金融工学研究所は、その正確性、確実性、有用性を保証するものではありません。また、㈱金融工学研究所は、「デフォルトイベントスタディ」の直接的および間接的を問わず、その使用により結果として生じた損害、損失、紛争に関して、一切補償致しません。